

病名	感染しやすい期間	登園の目安
インフルエンザ	症状がある期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了してから
麻疹（はしか）	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の膨張が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になってから
風しん	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
結核		医師により感染の恐れがないと認めてから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O11等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めてから
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めてから
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタウイルス等を含む感染性胃腸炎）	症状がある間と症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれるようになってから

こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、子どもたちが快適に生活できるよう、感染症について許可書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団生活が可能となる状態となつてからの登園であるようご配慮ください。